



# 島根県理学療法士学会

# 抄録の書き方

一般社団法人 島根県理学療法士会 学術局 学会運営部 研究支援部

## 今回の資料の目的

# 抄録の書き方がわからない人が



抄録作成のポイントが分かること

抄録が実際に作成できること

抄録を作成してみましよう

# Q : 抄録はどのような体裁で作成を？

A : 学会の演題募集要項 や過去の学会抄録集を参考にしてください。

## II.応募資格

一般社団法人島根県理学療法士会の会員に限ります。

※共同演者は会員外でかまいませんが、筆頭演者は本会会員であることとします。

## III.応募期間

**令和8年11月8日(月)～12月10日(金) 17時まで**

※期間厳守での登録をお済ませください。

## IV.受付手順

今年度より Web 上での演題登録となります。

演題募集期間に学会ホームページ上での『演題管理システム』より登録して下さい。

※演題登録用 URL はこちら：<https://is.gd/FYowh1>

## V.抄録原稿作成について

### 1. 文字数について

**1200文字以内** (タイトル・演者・倫理的配慮を除く) で作成してください。

### 2. 書式について

タイトル：フォーマットにご記載ください。



演題名の文字数



共同演者の記載人数 (2~3人)



本文の文字数 (1200字)

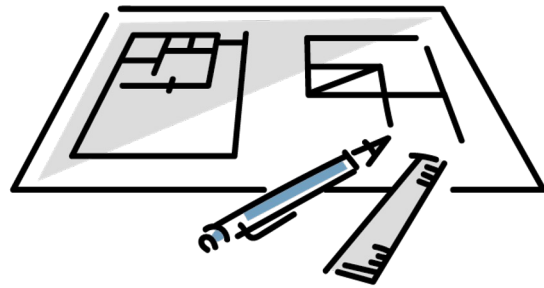


倫理的配慮の記載方法 (必須)

学会ごとに少しずつ抄録の体裁が異なりますので、**演題募集要項は必ずチェック**しましょう！

# Q：抄録のタイトルはどう作成する？

A：何がどう論じられているのかが分かるようにする。



- ✓ 論文の内容を簡潔かつ的確に表現する。
- ✓ 研究におけるキーワードを含める。
- ✓ 長過ぎるタイトルは避ける。
- ✓ 他人が読んで理解できるか？

タイトルは**一番最初に読んでもらう大事な箇所**です。興味関心をもってもらえるかどうかの鍵となります。過去の抄録や文献を参考にしながら考えましょう。

# 症例報告の場合



# 『はじめに・背景・目的』の書き方

「はじめに」では**研究・発表の背景**と**なぜその研究が行われたのか（目的）**を記載します。

## テーマについての現状

- ・ 先行研究では何が明らかになっていて、何が明らかになっていないのか？

## 今回の研究を実施する意義・目的

- ・ 現時点でどのような知見が不足しており、それを解決する意義はなにか？
- ・ 実際の臨床や社会においてはどのような課題がある？
- ・ この研究、症例報告をすることが臨床現場、社会においてどの程度重要なのか？

「はじめに」は発表内容のストーリーを決める部分のため、非常に重要な部分です。  
関連領域の先行研究を調査、引用して記載しましょう。

# 『症例紹介』の書き方



## どんな症例か？

- ・ 診断名や現病歴、主訴、治療およびリハビリ経過などを簡潔に記載する。



## 理学療法評価と臨床的思考

- ・ まずはどの時点での評価なのか明確にする。
- ・ 理学療法評価ではなるべく客観的な情報を用いて、必要なものだけ記載する。
- ・ 評価内容から、「何が問題なのか？」、「従来の介入方法では何が不十分であったのか？」が伝わることが重要。

**個人情報に十分留意しつつ、読者へ患者像が伝わるように記載しましょう。**

# 『介入方法・経過・結果』の書き方



## 介入方法

- ・なぜその介入方法に至ったのか？
- ・具体的な介入方法、頻度、強度など、他者が読んで同じ様に実施できるように記載する。



## 経過・結果

- ・どの時点で評価を行い、患者にどのような変化を認めたのか？
- ・初期時点での評価と比較する形式で記載する。

**介入の効果をより科学的に証明するために、どの時点で評価・介入を行い、介入前後でどんな変化があったのか記載することが必要です。**



# 『考察・結論』の書き方



## 考察

- ・この患者に対して、この介入方法はなぜ効果的であったのか？
- ・従来の方法と異なる点は何か？
- ・反対に、効果が認められなかった場合には、なぜ効果がなかったのか？



## 結語

- ・今回の結果から何が言えるのか簡潔に記載する。

**考察では先行研究で報告されていることを踏まえて、今回の介入方法の意義、限界について記載しましょう。**

# 研究報告の場合



# 『はじめに・背景・目的』の書き方

「はじめに」では**研究・発表の背景**と**なぜその研究が行われたのか（目的）**を記載します。

## テーマについての現状

- ・ 先行研究では何が明らかになっていて、何が明らかになっていないのか？

## 今回の研究を実施する意義・目的

- ・ 現時点でどのような知見が不足しており、それを解決する意義はなにか？
- ・ 実際の臨床や社会においてはどのような課題がある？
- ・ この研究、症例報告をすることが臨床現場、社会においてどの程度重要なのか？

「はじめに」は発表内容のストーリーを決める部分のため、非常に重要な部分です。  
関連領域の先行研究を調査、引用して記載しましょう。

# 『方法』の書き方



## 対象・評価方法

- ・対象者数や年齢、性別
- ・対象の取り込み基準や除外基準を記載する。
- ・いつの時期に、どのような項目を、どうやって評価したのか？



## 解析方法

- ・何を基準に群分けをして、どのように比較したのか？
- ・統計解析の手法について（使用した検定方法、有意水準など）

**誰に、何を、いつ、どこで、どのように評価したのか明確に記載します。  
5W1Hを意識してみましよう。**

# 『結果』の書き方



## 結果は調査した項目の数値のみ端的に記載する

- ・なるべく方法で記載した順に合わせて、結果を記載する。
- ・数値データであれば「平均値±標準値」もしくは「中央値（四分位数）」を記載する。
- ・「有意差が得られた」という結果だけでなく、実際の数値も示す（文字数に合わせて）
- ・p値の記載や単位の記載も忘れない。

**「結果」はあくまで今回の研究の結果を記載するのみです。  
自分の考え・解釈は「考察」ですので記載しないように注意しましょう。**

# 『考察』の書き方



## 主要な結果の要約

- ・まず今回の研究を簡潔にまとめる。

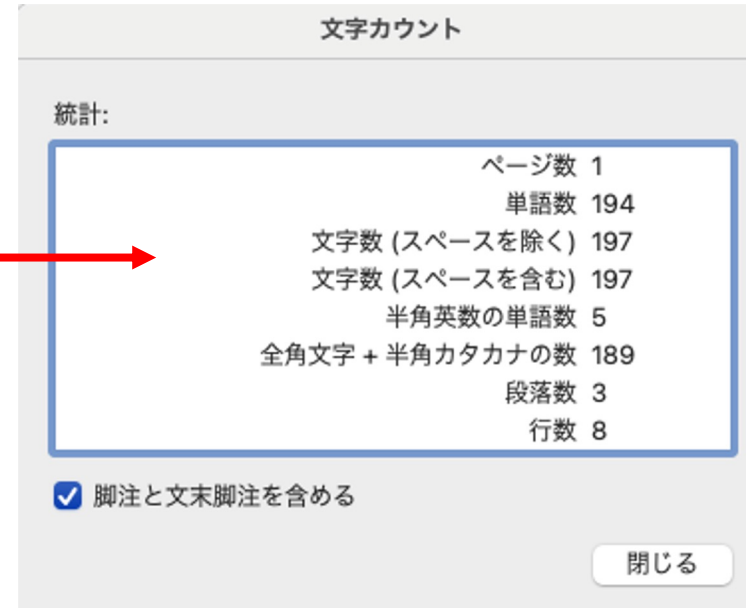
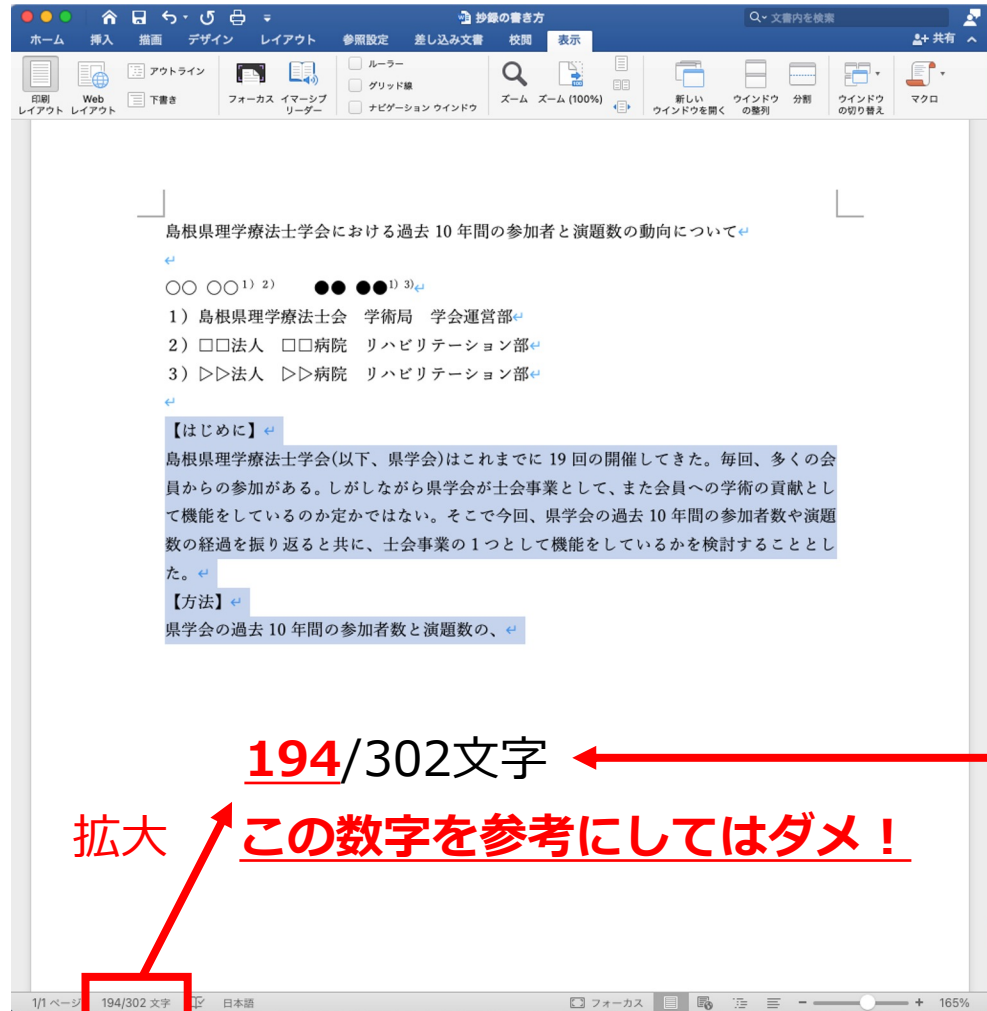


## 先行研究との比較と今回の結果の解釈

- ・今回の結果と先行研究と対比させて、なぜそのような結果になったのか？
- ・結果がポジティブな結果でも、ネガティブな結果でも問題はない。
- ・自分の解釈を裏付ける文献を引用しながら記載する。
- ・今回の研究の新規性は何か？我々の意思決定にどのような影響を与えるか？

**ポジティブな結果でもネガティブな結果でも、先行研究を踏まえた上で、今回の結果についての解釈、意義、限界について考察することが重要です。**

# Wordによる文字数の確認方法



●文字カウントを使用してしっかりと確認しましょう。

想いと成果をどんな言葉でぎゅっと伝えるか  
考えながら作成しましょう。  
より簡潔に伝えるにはどんな表現ができますか？

# Q：倫理的配慮はなぜ必要ですか？

A：倫理的配慮の記載は「患者さんの人権を守るため」にあります。

## 記載例)

- 研究報告の場合：本研究は〇〇病院の倫理審査委員会の承認を得て実施した。
- 症例報告の場合：対象者にはヘルシンキ宣言に基づき、本発表の趣旨を説明した上で、患者本人から文書での同意を得た。

**倫理に関する記載がない場合には、演題登録はできませんので、必ず記載を！**



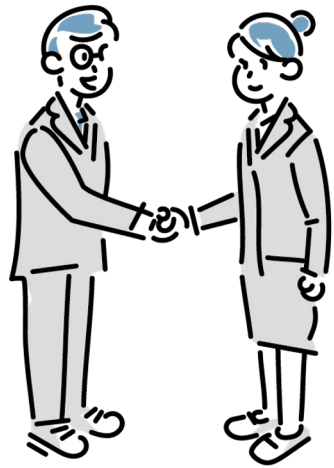
# 各種報告のガイドライン

適切な報告がなされているか確認するために、各種研究デザインによって「**報告ガイドライン**」があります。抄録作成の参考にもなりますので、ぜひご確認ください。

研究デザイン	報告ガイドライン
ランダム化比較試験	<b>CONSORT</b> 声明
観察研究	<b>STROBE</b> 声明
症例報告	<b>CARE</b> 声明

# Q：共同演者は必ず必要ですか？

A： 必須ではありません。いた方がメリットが多いです。



- ✓ 症例・研究の経過をその都度、確認できる
- ✓ 誤字脱字などのミスに気づくことができる
- ✓ 共に学ぶ、共に進むことができる

**共同演者は共に学び・成長する仲間**です。

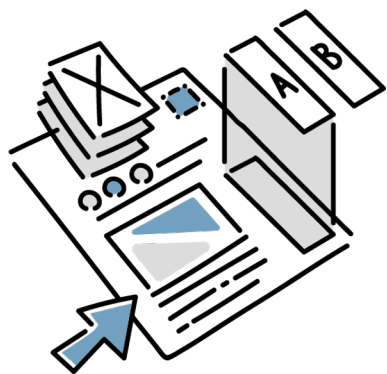
上司・先輩・同僚・後輩と共に学んでいきましょう。

# 共同演者の注意点



- ☑️ ギフトオーサー
    - ・ 研究に何ら貢献していないにも関わらず
    - ・ 研究が行われた学部の長の名前を入れること
  - ☑️ ゲストオーサー
    - ・ 研究への貢献度が低い、ある人物名を入れることで
    - ・ 論文などが出版される可能性を高めようとする
  - ☑️ ゴーストオーサー
    - ・ 研究にとっても重大な貢献をしている方の名前を
    - ・ 入れないこと
- 登録する演題に関係ない人を共同演者に入れることには注意してください。
  - 患者さんへの介入や研究・抄録作成を**共に進めた仲間の名前**を登録してください。

# 演題登録前に必ず確認して欲しいこと



- ✓ 誤字脱字がないか？ **（必ず印刷して音読する）**
- ✓ データそのものと解釈に間違いがないか？
- ✓ 検査方法などの正式名称を確認したか？

- 抄録はあなたや共同演者の成果物として公開されます。
- 自信をもって提出できるまでしっかり確認しましょう。

実際の学会現場…

「抄録と一部異なる点がございましたが・・・」という発表が多々あります。  
自分のミスでそうならないようにしましょう！！

# 作成した抄録に不安がある方へ

## 抄録作成サポート支援事業

学術局 研究支援部

島根県理学療法士学会での演題発表を目標にあなたの抄録作成をサポートします。



**書いてみたけどこれでいいのかな？**



**専門的な意見を聞いてみたい**



**作成のポイントを教えて欲しい**

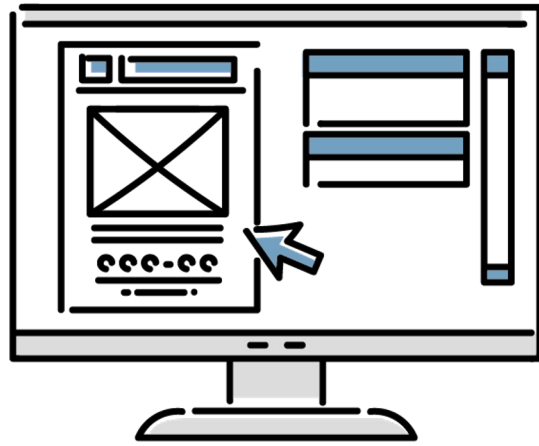


＼ 詳細はこちら ／



島根県内の専門・認定PTがその悩み解決します！

# 最後のステップ 演題登録時の注意点



- ☑ 各学会の募集要項を再度確認しよう
  - ☑ 登録内容に間違いがないか確認しよう
  - ☑ 特にメールアドレスの登録ミスに注意しよう
- Web上での演題登録がほとんどです。登録情報にミスがないか最後まで気を抜かないでください。
  - **特にメールアドレスの登録にはご注意ください。**  
auやdocomoよりGmail、yahooメールでの登録をお勧めします。

＼これで、おしまい／

## 参考になったでしょうか？



島根県理学療法士学会での演題発表が  
**皆さんのステップアップ**になると最高に嬉しいです。

初めての抄録作成は大変かもしれませんが、必ずあなたを成長させてくれるものです。

共に学び、共に進みましょう。

皆さんの**1歩**を楽しみに待っています。



# 島根県理学療法士学会

## 共に学ぶ、みんなでも学ぶ

皆さんの「その1歩」、お待ちしております。

一般社団法人 島根県理学療法士会 学術局 学会運営部 研究支援部